

興道

休まず 心をこめ 力をあわせて やりとげよう

夢・チャレンジ!



浦庄小学校校長室だより
令和3年9月6日発行

夏休みは、ご家族で有意義な時間をお過ごしいただいたことと思います。

新型コロナウイルス感染拡大がこれまでにない厳しい状況の中で2学期がスタートしました。2学期には、浦庄幼小運動会をはじめ、延期になっていた修学旅行、人権集会や遠足など様々な行事が予定されています。どの行事も児童の成長に欠かせないものと考えておりますが、今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、様々な行事をこれまでとは違った形で実施しなければなりません。保護者の皆様にもご無理をお願いすることも多いと思いますが、ご理解とご協力をお願いします。

さて、一日の始業式では、次のようなお話をしました。

【始業式のお話】

今、浦庄小学校に皆さんの元気な顔が戻ってきたことが、とてもうれしいです。今日登校してきて、何か気がついたことはありませんか？ そうです。運動場にあたらしい総合遊具が設置されました。また、前の調理室が給食の配膳室と学童クラブ用のスペースに生まれ変わっています。皆さんが楽しく気持ちよく生活できるようにするために、石井町教育委員会ははじめ多くの方が関わって完成しました。担任の先生から使い方についてのお話をよく聞いて、楽しく安全に使っていきましょう。



さて、1学期の終業式で、私から3つのお願いをしました。まず、「①夏休みの目標を決めてチャレンジしましょう。そして、「〇〇を頑張った」と言えるようにしましょう」です。ぜひ、「頑張ったこと」を担任の先生やお友達にお話ししてください。次に、「②家族の一員としての役割を果たしましょう。」です。最後は、「③自分の命は自分で守る」です。一人一人が守ったからみんなで元気に2学期をスタートすることができたのですね。

今日から2学期が始まります。夏休みに4名のお友達が転校し、浦庄小学校のお友達は127名となりました。127人一人一人が自分の力を目一杯伸ばすことができる2学期にするために、大きく2つのお話をします。

まず、大きな一つ目は「笑顔と感謝でチャレンジ」です。

この夏休みに世界的なイベントである東京オリンピックが開かれました。東京パラリンピックは現在開催中です。日本選手の活躍がテレビや新聞、インターネットなどでたくさん伝えられています。東京オリンピックやパラリンピックで皆さんの心に残る場面がたくさんあったのではないのでしょうか？

オリンピックでは、水谷・伊藤選手の卓球ミックスダブルス金メダル、阿部兄妹が同じ日に金メダルをとるなど多くのメダルを獲得した柔道、3Pシュートを武器に銀メダルをとった女子バスケットボール、惜しくもメダルは獲得できませんでしたが、体操の内村選手やバトミントンの桃田選手、テニスの大坂選手などを応援していた人もいたでしょう。

パラリンピックでは、激しいタックルに心奪われた車いすラグビー、アジア記録を更新した走り幅跳びの山本選手、惜しくも3大会連続のメダルはとれませんが、徳島県出身の正木選手が出場したの柔道など。

私自身、心に残った場面や言葉はたくさんありますが、その中から一人の選手を紹介します。パラリンピック水泳の成田真由美選手です。成田選手は、「水の女王」と呼ばれるほどで、これまで日本人選手最多の金メダル15個をとっているそうです。13歳の時に病気で下半身が不自由になりました。水泳は、23歳から始めたそうです。インタビューで次のように話されています。

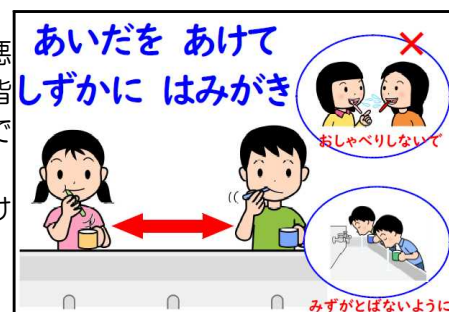
「自分が元気良くオギャーと生まれて、障がいと病気を与えてもらって、大嫌いだった水泳が大好きに変わって、たくさんの人に出会えて、パラリンピックにも6回出場出来て、コーチ、友達、一番は親がいてくれたからこそまでたどり着くことが出来た。感謝の気持ちでいっぱいです。」「私は皆様の意識が

変わってもらいたい。それが心のバリアフリーにつながる。」苦しいことやつらいことまでも自分の力に変えていると感じました。

パラリンピックやオリンピックの様々な場面で、「感謝」と「笑顔」が心に残りました。インタビューでたくさんの選手が、「感謝」の言葉を伝えていました。世界的にコロナが猛威を振るっている中で開催された大会です。参加できた陰には、多くの人々の支えがあったことに感謝し、自分の力を発揮するパワーにかえていたことです。また、メダルを獲得した選手はもちろん、力を出し尽くした後の選手の「笑顔」はきらきらしていました。自分のめあてに向かって努力を続けた人の見せる「笑顔」は美しいです。オリンピックやパラリンピックでメダルを取ることができる人は、ほんの一握りです。ほとんどの人はメダルを取ることにはできません。けがや病気、事故などで思うようにならないこともたくさんあります。でも、それぞれの人が、その時その時にできることを続け、自分の目標に向かってチャレンジし続けることが大切なのだと感じました。皆さんも、笑顔と感謝の心をもってチャレンジを続け、充実した2学期にしてほしいと思います。

大きな2つ目です。それは、新型コロナ対策です。今、感染状況は最悪と言ってもよいでしょう。いつ、誰が感染してもおかしくありません。皆さんには、いろんな活動で我慢をしてもらうこととなりますが、これまで以上に感染対策に心を配ってほしいと思います。特に、給食後の歯磨き、マスクの正しい使い方は、いろんなところに掲示します。互いに気をつけましょう。

では、みんなで力を合わせ充実した2学期にしましょう。



学校目標の達成状況について(1学期の評価)

今年度は、学校教育目標「校訓『興道』のもと、人間性豊かでたくましく生きる力をもった児童を育成する～「聴く・話す・学び合う」ことで『深い学び』を実現する～」のもと、「チーム浦庄」を合い言葉に学校運営を行っております。高浦中学校区で取り組んでいる「学びのかけ橋」プロジェクト事業により、幼・小・中の連携を充実させ、一貫性を持った教育を行うことにより、子どもたちの生きる力の育成に努めています。達成目標として、児童の生活アンケートの結果から6項目を定め、指標としています。7月に児童を対象に実施したアンケートの結果は次の通りです。

達成目標（生活アンケート 児童の結果から）

項目	R3 目標	R2(結果)	R3 1学期
① 学校は楽しい	97%	94%	90.5%
② 自分から進んであいさつをしている	100%	95%	92.1%
③ 授業中、先生や友達の話の聴くことができている	95%	93%	88.9%
④ 授業中、進んで発表している	80%	72%	74.6%
⑤ 協力して、まじめに掃除している	97%	93%	87.3%
⑥ 先生は、がんばったときにほめてくれる	95%	90%	89.7%

いずれの項目も本年度の目標には届いておりません。令和2年度(結果)と比較しても④の項目以外は、低い評価となり、目標達成にはほど遠い厳しい結果となっています。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、様々な制限がある生活や学習が、児童の行動や心理に影響を及ぼしているようにも感じます。この結果を真摯に受け止め、2学期以降の学校運営の改善にいかしていきます。

ご家庭でもお子様の学校での様子についてお話いただき、称賛や励ましの言葉をかけていただいたり、改善につながるご意見を学校にお寄せいただいたり、ご支援・ご協力くださいますようお願いいたします。